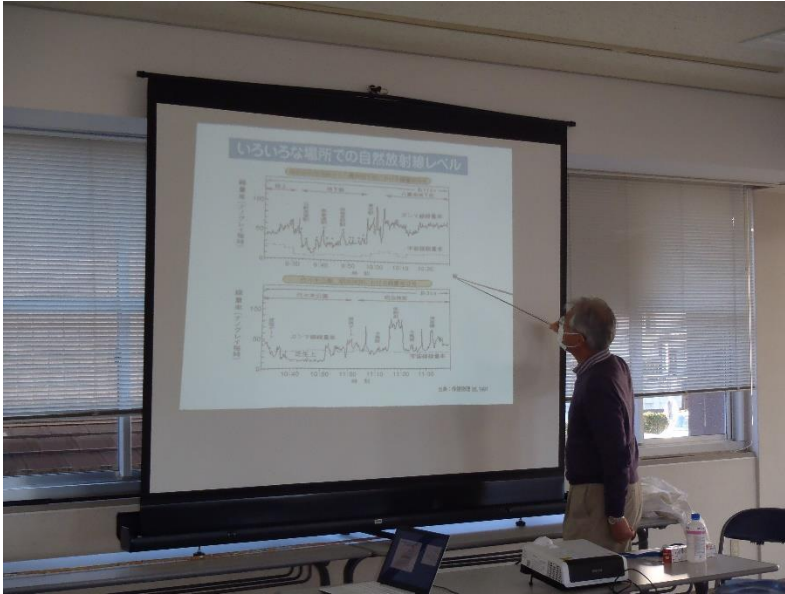


科学探検少年団活動報告

日時:令和3年12月26日(日) 9時~11時30分

場所:教育プラザ2階、ギャラリーA

今回は、放射線と原子力発電について学びました。



放射線は、地球の誕生と共に地球に存在し、場所によって高いところや、低いところがあります。

身近にあるものにも放射線が含まれているものがあり、それらを通して私たちは放射線に日常接しています。

放射線は、目に見えないものですが、霧箱を使い、放射線の飛跡(ひせき)を見ることができます。



シャーレの縁にスポンジを置き、スポンジにアルコールを含ませ、アルコールの蒸気をシャーレに満たします。シャーレの底をドライアイスで冷やしていると中心に置いた放射線源から出る放射線が白い細い線となって見えてきます。これは、寒い晴れた空にできる飛行機雲と同じで、アルコールの蒸気が放射線の飛跡を作ります。

霧箱の実験後、放射線測定器を使い、カリ肥料、御影石、ランタンの芯等に含まれる放射線を測りました。身近な物にも放射線があることを理解できました。

団員:11名、指導員4名。